



12月

『からだ思いの快福スープ』 飛田和緒/ナツメ社/596 ｷﾎ

軽くさっと煮て作る朝スープ、肉と魚・野菜たっぷり昼スープ、疲れて帰ってきた日の夜スープ…。シンプルで、とびきりおいしい! たんぱく質が手軽にとれて心も 体も快く幸福になれるスープを紹介します。これからの季節に温かいスープはいかかですか。



『子どもと本をつなぐ』

汐崎順子/玉川大学出版部/016.2ｼﾎ

戦後全国に広がった子ども文庫、文庫を母体に設立された東京子ども図書館、東日本大震災後の岩手県陸前高田市で生まれた文庫など、文献・アンケート・インタビュー調査をもとに子どもの読書環境を支える仕組みを考察する。

『一冊でわかる仏教とお寺』

武光誠/河出書房新社/180 ｷﾎ

仏は何を教えたかったのか。来日した仏教はなぜ宗派を違えたのか。お寺の建物とつくり秘められている教え、仏像の姿かたちの意味、行事に込められた願いとは。仏教の教養知識を、写真やイラストを交えてやさしく解説する。

『シン・関ヶ原』

高橋陽介/講談社/210.4ｷﾎ

徳川家康はすでに天下人だった。石田三成は西軍の首謀者ではなかった。東西両軍は開戦前に和睦していた。両軍の合計は3万ほどだった。帝国陸軍と司馬遼太郎が創った「通説」を、170通余りの書状が根本から覆す。

『豊臣秀長』

和田裕弘/中央公論新社/289.1ﾄﾎ

兄秀吉を天下人に押し上げた功労者、豊臣秀長。忠実無比の補佐役というイメージだが、秀吉の「名代」であり、後継たり得る実力者でもあった。諸大名の信望厚く、豊臣政権を支えながらも志半ばで病没した五十余年の生涯を追う。

『歩いて旅する、ひとり京都』

山脇りこ/集英社/291.6ｷﾎ

ひとり旅が初めてでも、3度目でも京都へ。“私とふたり”で歩けば、新しい景色や美食グルメ、そして本当の自分の心にも出会える! 京都、そして大阪、近江八幡、大津、明石、城崎への旅。『よみタイ』連載に加筆修正。

『单身リスク』

山田昌弘/朝日新聞出版/360 ｷﾎ

単身で生きる時間が長くなる「人生100年時代」。国民の4割が単身世帯の日本社会に何が欠けているかを考察し、単身者でも「ゆっくりと、幸せに」長寿社会を生きられる国の制度設計と個人の思考法を提言する。

『親じまい』

島田裕巳/宝島社/367.7ｼﾎ

年齢とともに変化する親子関係は「距離の取り方」が肝心。年老いた親との関係に疲れ切ってしまった人に向けて、心身の負担が軽くなる具体的な方法を解説。老親との関係が良くなるヒントが満載。

『疫病退散たべもの記』

吉野りり花/論創社/383.8ｼﾎ

何を食えると、どの病気を封じるのか。人々は身近な食べ物を通して、どのように病と向き合ってきたのか。その謎を解くために全国を巡った著者のエスノグラフィ。『にんぎょう日本』連載をもとに単行本化。

『虫と仕事がしたい!』

丸山宗利[編著]/河出書房新社/486 ｱﾙ 青少年

昆虫研究者、昆虫写真家、昆虫館職員、昆虫 YouTuber、殺虫剤メーカー研究員…。虫のプロフェッショナル15人が、仕事のリアルと昆虫の魅力を語る。

『鳥たちが彩る日本史』

大橋弘一/山と溪谷社/488 材

文芸史上最も好まれたホトトギスと清少納言、平安京を騒がせた怪鳥・トラツグミと源頼政、江戸のベストセラー作家・滝沢馬琴の心を癒した謎の鳥…。野鳥の専門家が、歴史上の人物を取り上げながら、野鳥の魅力を紹介する。

『一品で完結!炊き込みごはん』

岩崎啓子/家の光協会/596.3ｲﾎ

食材を切って鍋に入れるだけ! 豚とナスの梅炊き込みごはん、エビとアボカドのカレー炊き込みごはんなど、肉や魚をガツンと入れた、主菜も兼ねられるボリュームのある炊き込みごはんのレシピを紹介しします。

『おうちクッキー図鑑』

稲田多佳子/ナツメ社/596.6ｲﾎ

アイスボックスクッキー、食感のいいサブレ、見た目がかわいい渦巻きクッキー、おつまみにあうスパイスやチーズを使った大人味のクッキー…。ポリ袋の中でふり混ぜてまとめ、成形して焼く超簡単なクッキーのレシピを紹介。

『ゆるゆる漢方子育て』

櫻井大典/三笠書房/599 ｷﾎ

寝起きの空腹感を大切に、飽きるほどにスキンシップする…。幼児から小学校低学年くらいまでの子どもを想定した、薬に頼らずに体調を整える50の養生を紹介します。症状別に探せる、不調の対処法も掲載。

『すきまガーデニング』

主婦の友社[編]/主婦の友社/629.7ｼﾎ

敷地のすみ、駐車場、ベランダ、玄関…。植物のある暮らしは、その「すきま」が叶えます! バラの庭、季節の寄せ植え、ベランダガーデンなど、「すきま」でできるガーデニングアイデアや実例を紹介する。

『歌麿の春画と吉原』

リチャード・レイン/新潮社/721.8ｲﾎ

版元・薦重×絵師・歌麿の黄金コンビによる春画の傑作「歌満くら」を徹底解剖。歌麿が描いた吉原遊女の美人絵もたっぷり紹介する。『芸術新潮』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

『花やゆうれい』

町田尚子[画]/ほるぷ出版/726.5 ｱﾎ

名もなき、だなんて言っても誰も名を知らないだけの花やゆうれい ゆうれいも手をふるものかたちアオイそのはなびらのうすうすゆれて 歌人・佐藤弓生と絵本作家・町田尚子の、描き下ろしを含む書籍未収録作品による歌画集。

『絶滅しそうな世界の文字』

ティム・ブルックス/河出書房新社/801.1 ｱﾙ

夢の啓示で生まれた文字、奴隷貿易の暗号だった文字、民族独立象徴の文字…。世界中の消滅危機にある83の文字の歴史と現況を、現地調査に基づき描出。文字の成立にまつわる宗教や神話の情報も多数収録する。

『筒井康隆自伝』

筒井康隆/文藝春秋/910.26 ｯﾎ

生まれて最初の記憶、戦時中の幼年期、映画とジャズ漬けになった少年期、演劇に夢中だった青年期、作家デビュー、断筆宣言…。91歳、最後の文豪・筒井康隆が、自らの人生を濃密な文体でつづる。『文学界』掲載を書籍化。

『百年の短歌』

三枝昂之/新潮社/911.1 ｷﾎ

森鷗外、樋口一葉、与謝野晶子、石川啄木、宮沢賢治、塚本邦雄、寺山修司、美智子さま…。105首の名歌を懇切に鑑賞することにより、作歌へのヒントが学べるユニークな短歌入門書。『新潮45』『波』連載を書籍化。

『谷川俊太郎の日本語』

今野真二/光文社/911.5 ｺﾎ

現代の国民的詩人、谷川俊太郎。平明であることを基調とする彼の作品は、現代詩への問い、あるいは詩とは何か、ことばとは何か、というさらに高次の問いになっている。日本語学者が、様々な角度から作品を観察し、分析する。

『京大生、出町にダイブ!』

青木悠/河出書房新社/914.6 ｱﾎ

進学を機に京都に引っ越した大学生は、思いがけず出町の商店街に魅了される。個性的な店主や古き良き街並み、想像よりも地域はずっと懐深い。すべての一人暮らし学生におくる青春エッセイ。

『ナモナキ生活はつづく』

寺地はるな/集英社/914.6 ｱﾎ

ダーツで決める今日の献立、イマジナリ一家政婦さんの召喚、食器用スポンジとの悲恋…。暮らしはつらいよ、たのしいよ! 小説家・寺地はるなによる、共感必至のエッセイ集。『西日本新聞』掲載などを書籍化。

『私労働小説』

ブレイディみかこ/KADOKAWA/F ｱﾙ

フロアスタッフ、激安量販店の店員、屋敷の掃除人、ローンの督促人、「底辺託児所」の保育士…。著者が経験した数多のシット・ジョブを軸に、「私労働」の日々を描く自伝的連作短編集。『小説野性時代』掲載を書籍化。

『雷電』

梶よう子/KADOKAWA/F ｶﾎ

松江藩の江戸留守居役・石積多平太は、相撲嫌いながら、藩主が力を入れる力士の育成に関わることに。松江のお抱え力士・雷電為右衛門の圧倒的な強さを前に、次第に相撲に魅入られ…。『小説野性時代』連載に加筆修正。

『旅行屋さん』

河治和香/実業之日本社/F ｶﾎ

日本における団体旅行の始まりは、汽車で行くお伊勢参りだった! 旅のお世話に生涯を賭けた、日本初の旅行会社「日本旅行」創業者・南新助の奮闘と激動の生涯を描く、旅行屋さん小説。

図書館のホームページで蔵書検索や本の予約ができます。

また、登録された方にはメールで新着本をお知らせする「新着案内メール」を配信しています。

※メールアドレスを変更された場合はご自身でホームページより変更手続きをお願いします。



スマホ用ホームページ